

府中西 高等学校 令和7年度 ( 学年用 ) 教科 国語 科目 論理国語

教科: 国語 科目: 論理国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 学年 組 ~ 組

教科担当者: (1, 4, 7, 8組: 宮田) (2, 3, 5, 6組: 松谷) (組: ) (組: ) (組: ) (組: )

使用教科書: (三省堂 精選 論理国語 )

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握す

【学びに向かう力、人間性等】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確

科目 論理国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論証したり討論したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学期	流言とメディア ●A I時代のメディアリテラシーについて考察する。(読ウ)	1「インターネットは……情報拡散メディアである。」とは、どういうことか説明する。 2「私たちは『流言が……必要がある』のはなぜか、筆者の考えをまとめる。 3「人間がA I化する可能性が高い」とは、どういうことか説明する。 4「曖昧な情報に耐える力」とは、どのような力のことか説明する。 5「客観的で信頼できる……暮らせるのだろうか。」という筆者の問いかけについて、どう考えるか話し合う。			○	知・技 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。(11ウ) 思・判・表 ・主張を支える根拠や結論を導く論理を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(読ウ) 主 ・進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈し、様々な資料を調べ発表したり話し合ったりしようとしている。					6
	「対話」の言葉をつくる ●「対話」の言葉のあり方を考える。(書イ) ◇特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(書ア)	1「私たちは、……忘れてはならない。」とあるが、その理由を説明する。 2「その大きな積み残し……私は考えてきた。」とあるが、筆者がこのように考えた理由をまとめる。 3「新しい時代の、……確実に過渡期にある。」とは、どのようなことか説明する。 4筆者の考える「『対話』の言葉」とは、どのようなものかまとめる。 5近年、社内で個人を呼ぶときに役職や呼ばず、男を聞かず「ーさん」と呼び合う企業が増えていることについて、どう考えるか話し合う。			○	知・技 ・言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(11ア) 思・判・表 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(書イ) 主 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習の見直しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめようとしている。					7
	「欲望」と資本主義 ●「欲望の開拓」という視点から資本主義について考察する。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)	1「人間の社会的経済問題は……むしろ『過剰』にある」とはどのようなことか、筆者の考えをまとめる。 2「こうした過剰は……だろうか。」とあるが、筆者は「過剰」のもつ意味をどのように説明しているかまとめる。 3「ここに『消費社会』なるものの原型がある」とはどのようなことか、筆者の考えを説明する。 4この『過剰』の処理……論理的なのである。」とはどのようなことか、筆者の考えを説明する。 5「資本主義とは……プロセスだといえる。」理由を説明する。			○	知・技 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(11イ) 思・判・表 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(書ア) 主 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見直しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。					6
	スポーツとナショナリズム ●スポーツとナショナリズムの関係を考察する。(読カ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論証したり討論したりする活動。(読イ)	1「スポーツとナショナリズムとの密接な関係」とはどのようなことか、本文の具体例に基づき説明する。 2「政治的ナショナリズム」と「スポーツにおけるナショナリズム」を筆者はどのようなものと述べているか、整理する。 3スポーツにおけるナショナリズムが『野蠻化』に結びつく危うさを常に持ち合わせている理由を説明する。 4スポーツとナショナリズムの結びつきについて、筆者の考えとその理由をまとめる。			○	知・技 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(11エ) 思・判・表 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(読カ) 主 ・進んで、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを論述しようとしている。					7
2 学期	生命との関わりー精神科医としてー ●生命と「相互主体的に関わる」とはどのようなことか考える。(読エ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論証したり討論したりする活動。(読カ)	1「目で見なくても、……ということがある。」とあるかどうか、筆者の取りあげた例を根拠で説明する。 2「行動するだけで……考えることができない。」とはどういうことか、説明する。 3「行為主体として……行為に関わる」とはどのようなことか、筆者の考えを説明する。 4「生きている主体……に関わる」とはどのようなことか、身近な例を取りあげて話し合う。			○	知・技 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(11エ) 思・判・表 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(読エ) 主 ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開や表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価し、文章の内容をもとに自分の考えを論証したり、討論したりしようとしている。					7
	リスク社会論 ●「リスク社会」の分析をとおして現代社会の諸課題を考察する。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)	1「リスク (risk) と危険 (danger) との関係」について、筆者の考えをまとめる。 2「リスクは、再帰的……状態にはならない。」のはなぜか、説明する。 3「リスク社会のリスク……特徴がある。」とあるが、「二つの顕著な特徴」についてまとめる。 4「リスク社会は、古代やリニア……否定してしまう。」とは、どういうことかまとめる。 5「こうした態勢は、民主主義的な決定の基盤を切り崩すことになる。」とは、どういうことか説明する。			○	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(21イ) 思・判・表 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(書ア) 主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習の見直しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。					7
	学問のすすめ ●「学問のすすめ」の意義を、「実学」を手がかりに考える。(書イ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。(書ウ)	1「『天は人の上に人を遣らす下に人を遣らす。』と告ぐべし」とあるが、筆者のこの言葉の捉え方をまとめる。 2「かしこき人あり、……雲と雨との相違」とあるが、なぜそのような相違が生じるのか、筆者の考えを説明する。 3「身分重き人」と「身分軽き人」を、筆者がどのように説明しているかまとめる。 4「一科一学も……達すべきなり。」とはどういうことか説明する。 5この文章は、どのような内容について。			○	知・技 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(11エ) 思・判・表 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(書イ) 主 ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習の見直しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめて批評し合おうとしている。					8
3 学	大学入試過去問題集	大学入試問題の解法および学習方法、問題集の使い方について理解させる。 語彙力・漢字の読み書きの力を付けさせる。			○	知・技 ・文章について理解を深め使っている。(21ウ) 思・判・表 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張の強さに伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(書カ) 主					6

期						<p>・文章について理解を深め、学習課題に沿って自分の考えを短い論文にまとめて批評し合い、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直すとしている。</p>				合計
										54

府中西 高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 松谷 ） （ 栗田 ） （ 森永 ） （ 組： ）

使用教科書：（ 三省堂 精選文学国語 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>本を読むと路に迷う</p> <p>●本を読むことの「幸福」について考える</p> <p>想像し物語ること</p> <p>●「想像力」のはたらきを理解する</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 次の表現には、筆者のどのような思いが述べられているか、それぞれ説明してみよう。</p> <p>①本を読んでいると空間はことばだけになる。(214・6)</p> <p>②本をひらくと路がふえる。(215・15)</p> <p>③学問として「読む」(216・12)</p> <p>2 「本を読むと路に迷う」というタイトルは筆者のどのような読書体験に基づいたものだろうか、話し合ってみよう。</p> <p>3 あなたの「ひたすら幸福な、たったひとりだけ」の読書体験について発表してみよう。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>1 筆者のいう「想像力」のはたらきを、次の事例に即してまとめる。</p> <p>①原爆病院の老婦人の場合</p> <p>②『アンナ・カレーニナ』や『ボヴァリー夫人』を読む場合</p> <p>③大岡昇平の『歩哨の眼について』の場合</p> <p>2 「老婦人」の次の言葉はどのような意味をもつか、説明する。</p> <p>①「これよりもずっと恐ろしかったですよ」(221・8)</p> <p>②「こんなに昂奮しておもしろい時をすごしたことはありませんでした！」(226・6)</p> <p>3 「秀れた小説」(227・3)とはどのようなものか。バジュラル</p>	<p>知・技</p> <p>・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)</p> <p>・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(3)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(読ア)</p> <p>②作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ)</p> <p>主(例)</p> <p>・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。</p>				6
<p>ベル・エボック</p> <p>●「私」の視点で描かれていることに留意して登場人物の関係を捉える</p> <p>●「靴」の象徴的意味について考える</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 引越しの日までに「私」と「みちかちゃん」に起こったできごとを、時間順に整理する。</p> <p>2 次の場面における「私」の心情を説明する。</p> <p>①みちかちゃんは呟くように、優しく「ばかなやつ」と言った。(233上・12)</p> <p>②みちかちゃんの匂いも、誠さんの匂いも、ゆっくりこの部屋から抜けて空に昇っていくんだろう。(23上・15)</p> <p>③いつまでも、最後のひとすくいを残して喋った。(237上・3)</p> <p>3 「みちかちゃんは実家には帰ら</p>	<p>知・技</p> <p>・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)</p> <p>・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(3)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(読イ)</p> <p>②文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。(読エ)</p> <p>主(例)</p> <p>・進んで人間、社会、自然などに対するもの</p>				

	<p>ない」(237下・4)とあるが、「私」はなぜそう思ったのか、説明する。</p> <p>4 「きつとみちかちゃんは携帯の番号さえも変えてしまうのだろうと思った」(238下・1)とあるが、なぜ「私」はこう思うのか、話し合う。</p> <p>5 「ベル・エポック」という題名にはどのような意味がこめられているのか。考えたことを話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「さんざん迷ったあげく、一種の消去法と言いますか、けっきょくこじかかないことがわかったわけです」(241・6)とあるが、どういうことか。まとめる。</p> <p>2 鞆に対する「私」の考え方はどのように変化したか、整理する。</p> <p>3 この物語は私たちにどのような問題を投げかけているだろうか。「選ぶ道がなければ、迷うこともない。私は嫌になるほど自由だった」(245・11)に着目して話し合う。</p> <p>4 「鞆」とは何か、その象徴的意</p>	<p>の見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈しようとしている。</p>			7
1 学期	<p>永訣の朝 ギリシア的抒情詩 のちのおもひに</p> <p>●表現形式や修辞の効果に着目し、それぞれの詩の理解を深める</p> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 〔永訣の朝〕</p> <p>1 「わたくし」の行動と心情の変化を考えながら、全体を四つの部分に分ける。</p> <p>2 次の詩句には、「わたくし」のどのような思いが表れているか、それぞれ説明する。</p> <p>①うすあかくいつそう陰惨な雲 ②みなれたちやわんのこの藍のもやう ③やさしくあをじろく燃えてみる ④あんなおそろしいみだれたそらから／このうつくしい雪がきたのだ</p> <p>3 「(あめゆじゆとてちてけんじや)」の繰り返し表現や次の詩句の表記の仕方は、この詩にどのような効果をもたらしているか、それぞれ説明する。</p> <p>① (Ora Orade …… egumo) ② (うまれでくるたて……うまれてくる)</p> <p>4 「おまへがたべるこのふたわんのゆきに……わたくしのすべてのさいはひをかけてねがふ」には、「わたくし」のどのような思いが込められているだろうか、話し合う。</p> <p>〔ギリシア的抒情詩〕</p> <p>1 「天気」を読んで、どのようなイメージが浮かんでくるか、また、それはどの表現の効果によるか、説明する。</p> <p>2 「雨」を読んで、「……をぬらした」の繰り返しがどのようなイメージの広がりをもたらしているか、また、「私の舌をぬらした」とはどのようなことか、それぞれ説明する。</p> <p>〔のちのおもひに〕</p> <p>1 この詩の形式や表現の特徴について、説明する。</p> <p>2 次の詩句はどのような思いを表現したものか、説明する。</p> <p>①—そして私は／見て来たものを 島々を 波を 岬を 日光月光を／だれもきいてゐないと知りながら 語りつづけた…… ②夢は 真冬の追憶のうちに凍るであらう／そして それは戸を</p>	<p>知・技</p> <p>・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)</p> <p>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(3)ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>①他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。(読ウ)</p> <p>②設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読キ)</p> <p>主(例)</p> <p>・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。</p>			7

	<p>あけて 寂寥のなかに／星くづにてらされた道を過ぎ去るであらう 3 この詩の背景にどのような物語を想像することができるか、話し合う。</p> <p>[各教材] 1 それぞれの詩のリズム・言葉の響き・内容に注意して読み方を工夫し、朗読する。 2 印象に残った詩の作者を一人選んで、その生涯や作品、文学史的な位置づけなどについて調べ、発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 それぞれの俳句について、表現されている情景や感動の中心を説明する。 2 季語のある句については季語とその季節を指摘し、切れ字のある句については切れ字を指摘し、</p>					
<p>象徴</p> <p>●「鞆」の意味を考えるを通して、自分のものの見方、考え方を深める</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 小説「鞆」を手がかりに、象徴について考える。 ①自分にとって「鞆」にあたるものは何か、発表し、話し合う。 ②話し合いをふまえ、「鞆」という題で六〇〇字の文章を書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(3)イ)</p> <p>思・判・表 ①作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ)</p> <p>主(例) ・進んで人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深め、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p> <p>◆言語活動例 ・作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や見解を基に議論したりする活動。(読ア)</p>			6	
<p>連詩の楽しみ</p> <p>●文学の共同制作の意義を考える ヤングの連句 —半歌仙『赤城おろし』の巻</p> <p>●連句の詠み方・進め方を事例を通して理解する</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 オクタヴィオ・パスは「Renga」(連歌)を試みた体験についてどのように述べているか、まとめる。 2 次の①～③はどのようなことを述べたものか、本文に即して説明する。 ①連句や連詩が……詩的契機の最重要の要因として持つ(271・7～8) ②堪えがたい暴力的な内部への侵犯(272・2) ③連歌は日本人に対し、……交換と承認が形づくる円環へと転じる可能性を提供した(273・10～11) ④連詩という詩の形式は、……きわめて親身で敏感な鑑賞者・批評家であることを要求します。(277・3.5)</p>	<p>知・技 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。((1)ア) ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。((1)ウ)</p> <p>思・判・表 ①作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ) ②設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読キ)</p> <p>主(例) ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、作品の内容や解釈を踏まえ人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>				

	<p>3 筆者は連詩の意義をどのように捉えているか、整理する。 4 「他者との能動的な関係」(271・9) から生まれた芸術作品にはどのようなものがあるだろうか、調べて発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 半歌仙『赤城おろし』の巻について、本文を手がかりに前句と付句のつながり方を説明する。 2 連句の詠み方や進め方について、わかったことを発表する。 3 連句の形式や式目(ルール)について図書館やインターネットなどを利用して調べる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>				9
<p>学びを広げる 連詩を作る</p> <p>●連詩をつくることを通して、文学の共同制作の意義を理解する</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 四人でグループをつくり、連詩を詠む順番を決めておく。一人あたり二行～四行程度の詩句を書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1イ) ・文学的文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。(1エ)</p> <p>思・判・表 ①文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(書エ)</p> <p>主(例) ・進んで情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。</p>			9
<p>靴の話</p> <p>●「事実」という言葉を手がかりに「私」の戦争体験を理解する</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 『西部戦線異状なし』の「『ケムリッヒの長靴』という挿話」(288・1)における「ただ事実のみが僕らにとって正しく且つ重要であった」(288・10)とはどういうことか。「わざとらしい感情を持っていなかった」ということに留意して、説明する。 2 「結局靴だけが『事実』である。こういう脆い靴で兵士に戦うことを強いた国家の弱点だけが『事実』である」(295・3)とはどういうことか。「私」の「戦場」での体験をふまえて、まとめる。 3 「夜、鮫皮の靴を敷地の隅へ埋めてきた」(297・7)には「私」のどのような思いが示されているか。説明する。 4 「収容所でも戦場と同じく『事実』だけが『正しく且つ重要であった』のである。欠乏のあるところ常に『事実』がある」(297・11)とはどういうことか。「私」の「収容所」での体験をふまえて、まとめる。 5 大岡昇平の戦争文学作品やその背景について調べ、発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。(1ア) ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(3イ)</p> <p>思・判・表 ①語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(読イ) ②他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(読オ)</p> <p>主(例) ・進んで人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈しようとしている。</p>			8



# 府中西高等学校 令和7年度 年間授業計画

教科：(地理歴史) 科目：(世界史探究) 対象：(第3学年 1組～8組選択者) 単位数：4単位

教科担当者：足立聖子

使用教科書：新詳世界史探究 (帝国書院)

使用教材：最新世界史図説タペストリー (帝国書院)、総合マスター世界史(浜島書店)

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	先史 アメリカ・アフリカの歴史的特質 諸地域の歴史的特質の形成 1 古代文明の歴史的特質 2 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>進化・考古代について知る。</li> <li>アメリカやアフリカの古代文明について知る。</li> <li>東アジアの文化の特質について学び、秦漢における中央集権的専制国家の形成について、周辺地域への拡大とも関連づけて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	4    6
	3 南アジアと東南アジアの歴史的特質 4 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代インドと東南アジアについて知る</li> <li>オリエント文明では、大河の治水・灌漑農業の登場に伴い、神権政治が早くから発達したことを知る。</li> <li>ポリス社会が古代地中海世界の基礎となる都市生活の原型となったことを知る。</li> <li>ローマ帝国による地中海世界の支配が、その後のヨーロッパ文明の源流となったことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	2   8
6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>中世ヨーロッパ封建社会の成立と変遷について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	6
	5 ユーラシア大交流圏の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラーム世界の成り立ちとその変遷について学ぶ。</li> </ul>		8
7月	5 ユーラシア大交流圏の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>東アジア世界の成熟と変遷について学ぶ。</li> <li>モンゴルによるユーラシア大帝国の出現について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	6
9月	6 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア諸地域に成立した巨大帝国の特質について知り、アジア域内の交流が活発化したことについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	10
10月	6 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人のアジア・新大陸への進出について学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>主権国家の成立、大西洋三角貿易について知る</li> </ul>		6

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	問題演習	共通テストレベルの問題に対応できるよう演習を行い、必要に応じて復習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	8
	問題演習	中堅私大レベルの入試問題に対応できるよう演習を行う		4
12 月	問題演習 (期末考査)	共通テストレベルの問題に対応できるよう演習を行い、必要に応じて復習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	8
1 月	問題演習	中堅私大レベルの入試問題に対応できるよう演習を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	4
2 月	問題演習	中堅私大レベルの入試問題に対応できるよう演習を行う		4
3 月	問題演習	中堅私大レベルの入試問題に対応できるよう演習を行う		2











